

うさぎぐみだより

きらら保育園 令和6年3月1日発行



いよいよ今年度も残りわずかとなり、うさぎぐみの子どもたちと、このクラスで一緒に過ごせるのもヶ月となりました。春には、進級する子どもと、転園する子どもに分かれることとなりますが、残りの毎日をたくさん楽しみ、心に残る思い出をつくっていきたくと思っています。

最近の子どもたちは、一人が面白そうなことをしていると「なになに？」とそこへ一人、二人と集まって来て、最後にはクラスみんなで楽しんでいます。お話し上手な会話もはずんでいて、お家でのご飯の話から給食の話題につながったり、おままごとのうどんが、へびになって、その後電車に変化していったりと、子どもたちのイメージが言葉になる面白さを実感しています。そんな子どもたちの姿一つ一つが成長であり、嬉しさが込み上げるばかりです。3月もどんな成長が見られるか楽しみながら、元気に過ごしていきたいと思えます。



保育園に鬼が来た～

節分より少し早く、保育園に鬼がやってきました。自分で塗った赤や緑やピンクの鬼のお面をかぶり、最初はパネルの鬼に向かって「鬼は外～福は内～」と豆を投げていますと、ドアから本当の鬼がやって来てびっくり！怖い気持ちもありながら、頑張って鬼に向かって豆を投げていた子どもたちです。最後は鬼と相撲対決！力自慢のお友だちが、「がんばれ～！」の声援に応え、パワフルな押しで鬼たちを倒すことができました！！



ひな人形の制作をしました

ひな人形の制作をしました。お内裏様とお雛様の顔を描いたり、着物に折り紙を張ったりしました。「お雛様をつくるよ～」と声をかけると「やりたい！やりたい！」と大はりきり☆「目と口を描いてね」と話すと「鼻も描かなくちゃ」と子どもたち自らパーツを加え、とっても上手に描いていましたよ。



3月生まれのお友だち

踊ったり歌ったりが
大好きな
なこちゃんです☆

